

4 食育を支える取組



食育を効果的に推進するため、市町村を始めとする関係者との連携を図りつつ、「食育にかかる人材の育成と活動の充実」、「関係者の役割分担とネットワークの充実」及び「いいともあいち運動の推進」について取り組みました。

(1) 食育にかかる人材の育成と活動の充実

県民一人ひとりの主体的な取組がより効果的なものとなるよう、その取組を支援する人材の育成と活動の充実に取り組みました。

栄養指導

東郷町立東郷中学校

●実施時期：平成 25 年 10 月

●対象者：中学生

●内容

給食センターでは、栄養士養成校である名古屋学芸大学 管理学部から実習生を受け入れています。

平成 25 年度は、学生から栄養指導実習をしたいとの要望があり、中学 3 年生に対して給食を食べる意欲をもたせることを目的に、東郷町立東郷中学校において給食時間に栄養ミニ指導を実施しました。

当日は、10 月 31 日のハロウィーンにちなみ、かぼちゃを題材とした指導を 5 分程度実施しました。



●活動の成果、今後の課題

生徒はとても興味をもってよく聞いていました。その日の残菜もほとんどなく、食べる意欲をもたせることができたようです。学生からの栄養指導は生徒にとって新鮮で、とても興味をもちやすいと考えられるので、継続して実施していきたいです。

〈取組項目：保育・教育機関における推進体制の充実〉

〈取組場面：学校〉



●実施時期：平成 25 年 9 月 ●対象者：管理栄養士・栄養士他

●内容

保育園や幼稚園の給食における食物アレルギーや誤嚥などの事故防止等を目的に食の危機管理研修会を開催しました。

研修会は管理栄養士・栄養士だけでなく、保育園・幼稚園関係者にも参加いただき、食の危機管理に対する関心が高いことがうかがえました。食物アレルギーも誤嚥も大きな事故につながる危険性があり、給食をつくる管理栄養士・栄養士だけでなく、多職種で連携して危機管理を行う必要性を感じました。

●活動の成果、今後の課題

管理栄養士、栄養士だけでなく、保育士、保健師、看護師、幼稚園・保育園長など多くの職種の方々に参加いただき、大変盛況の内に終了しました。日進月歩する食物アレルギーなどの健康・栄養情報を習得するために、充実した研修会を開催していきたいと考えています。



〈取組項目：社会人を対象とした推進体制の充実〉

〈取組場面：地域〉

食育推進ボランティアの活動支援

●実施時期：通年 ●対象者：愛知県食育推進ボランティア

●内容

愛知県では、地域で食育の推進活動を自主的に行う食育推進ボランティアを育成し、その活動を支援しています。

平成 25 年度は、食育推進ボランティアの活動を広げるため、金城学院大学と食育推進ボランティアが連携して活動を実施する仕組みを新たに整備し、その活動が円滑に行えるよう活動内容の検討や、仕組み作りの支援を行い、日進子育て支援センターや幼稚園などで、取組が実施されました。

●活動の成果、今後の課題

ボランティアと学生さんが連携して活動を実施することで、ボランティアは、活動人数が確保でき、安定した食育活動が実施できました。

また、学生さんは、学校で教わった内容を食育の現場で実践することができ、双方にとってメリットのある取組に繋がりました。

今後も、他団体等との連携を推進していきたいと思ます。



〈取組項目：愛知県食育推進ボランティアの育成と活動の充実〉

〈取組場面：地域〉

●実施時期：平成 25 年 8 月 28 日 ●対象者：輝きネット・あいちの技人認定者及び農村輝きネット・あいち会員

●内容

平成 15 年度から、これまでのグループ活動で培い、優れた農業及び暮らしの技術を持ち伝承できるネット会員を「輝きネット・あいちの技人」として認定しています。

平成 25 年度は、8 月 28 日に 11 回目となる認定式を愛知県立農業大学校で開催し、新たに 9 名を認定しました。認定式後、技人の先輩から認定開始の経緯や活動事例を学ぶ研修会が行われました。

○技人の技術の種類

- (1) 地域の伝統食・郷土食・行事食等農家の食事に関する技術
- (2) 農畜産物の加工に関する技術
- (3) 手工芸に関する技術（わら細工、竹細工、炭焼き等）
- (4) 農業生産及び作業に関する技術
- (5) その他農業・農村の暮らしを向上させる技術

●活動の成果、今後の課題

輝きネット・あいちの技人の認定者数は 224 名になり、味噌づくりやしめ縄づくりなどを地域住民に伝えたり、小学校等で子どもたちに農産物の栽培方法や伝承料理を教えるなど幅広い活動をしています。今後も技人の活躍を期待し、認定していきます。



〈取組項目：食育に係る多様な人材の育成と活動の促進〉

〈取組場面：地域〉

●実施時期：平成 25 年度 ●対象者：愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会会員

●内容

小学校 1 年生の食育指導のために、紙芝居「たのしいきゅうしょくがはじまるぞう！」を作成しました。内容は文部科学省から配布される「食生活学習教材」と関連して指導するために、同じキャラクターを登場させ、学校給食を通して食への関心を高め、より良い食習慣について楽しく学べるものです。栄養教諭・学校栄養職員が各学校で活用し、その後の食育指導に発展させていく計画です。



●活動の成果、今後の課題

本協議会では毎年、食育指導を効果的に行うための教材開発に取り組んでいます。作成した教材の活用場面、児童生徒の反応や担任との連携方法などを把握し、今後の作成に生かしたいと考えています。

〈取組項目：食育推進資材の作成や調査・検定の実施〉

〈取組場面：地域〉

(2) 関係者の役割分担とネットワークの充実

地域に根ざした食育を効果的に推進するため、多様な関係者が各々の強みを活かし役割分担した上で、相互に連携して活動に取り組みました。

地域食育推進支援会議の開催

愛知県

●実施時期：平成25年6月28日 他 ●対象者：市町村、企業、地域の食育関係者等

●内容

愛知県では、市町村、関係団体、学校関係者、食育推進ボランティア等からなる地域食育推進支援会議を開催し、地域における食育の関係者の連携を促進しています。

平成25年度は、尾張農林水産事務所始め7事務所で開催し、地域における食育推進の取組状況や今後の取組について話し合いを行いました。

また、地域ボランティア連携企画として、食育推進支援会議の参加者が地域のお祭りなどで野菜の手ばかりや紙芝居などの啓発活動を連携して行いました。



●活動の成果、今後の課題

食育の実践を促進するためには、多様な関係者の連携や協力を図りつつ、その地域の実情に応じた取組を行うことが効果的です。

今後も、地域食育推進支援会議を通して地域の多様な関係者が連携するきっかけを作っていきたいと考えています。

〈取組項目：地域食育推進支援会議の開催〉

〈取組場面：地域〉

第21回知立市福祉健康まつり食育コーナー

知立市保健センター、食育推進ボランティアグループ米太郎、コープあいち、愛知県

●実施時期：平成25年10月20日 ●対象者：幼児、児童、保護者

●内容

第21回知立市福祉健康まつりの食育コーナーにおいて、女性農業委員の食育推進ボランティアグループ米太郎による食育紙芝居（地元で採れた新鮮な野菜を食べよう）とコープあいちによる「食まるコーナー（食まると一緒にバランスチェック）」が開催されました。食育紙芝居では、農業のカミさま「ウーさま」の着ぐるみも登場し、子ども達を歓声の渦に巻き込むことができました。女性農業委員の調達した野菜の詰め合わせをプレゼントするとともに、食まるファイブの食事バランスチェックとあわせて、野菜をおいしくバランスよく食べることの大切さを子ども達に楽しく伝えることができ、大変盛況でした。



●活動の成果、今後の課題

朝食のバランスチェックでは、「ウーさまの言うとおりに、地元の新鮮な野菜をおいしく食べたいね」と、親子で会話がはずみ、家庭の食事バランスの改善に向けた良い啓発ができたと思われました。農業者（米太郎）と消費者団体（コープあいち）が得意分野を活かして連携することができ、息の長い交流を続けていければ良いと思います。



〈取組項目：地域の活動主体同士の連携企画の促進〉

〈取組場面：地域〉

あいち食育いきいきミーティングを大学で初開催

愛知県

●実施時期：平成 26 年 2 月 15 日 ●対象者：大学生、地域の食育関係者等

●内容

食育への関心が低い若い世代を主な対象として、県内の大学と連携し、「あいち食育いきいきミーティング」を名古屋市内で開催しました。栄養学専攻生による実践事例の発表や、企業による取組報告、ディスカッションを通じて、若い世代の食の課題や実践のポイントを来場者も一緒になって考えました。また、食育推進関係者などを対象に、岡崎市でも同ミーティングを開催し、事例の紹介や意見交換を行いました。



●活動の成果、今後の課題

当日は、100 名を超える参加者があり、「若い世代に向けた実践促進」をテーマとして、学生や企業、地域の食育関係者と一緒に、お互いの意見を交えて課題を共有することができました。

特に、学生の学内外での活動の発表は若い世代の食育実践を促すための視点や手法を考える上で、とても参考になりました。

今後も、若い世代に向けた食育の実践促進を進めていきたいです。



〈取組項目：地域の活動主体同士の連携企画の促進〉

〈取組場面：地域〉

カウガールスクール

酪農教育ファーム認証農家 3 戸、愛知県酪農農業協同組合

●実施時期：通年 ●対象者：県民

●内容

県内に酪農教育ファーム認証農家が 18 戸あり、その中で有志 3 戸（豊田市久保田牧場・東浦町原田牧場・西尾市北村牧場）が手を上げ、発信力のある若い女性を募集し、1 年間（春夏秋冬の年 4 回）を通じて酪農を体験してもらいました。日時は農家と参加者でその都度決め、内容も各牧場で企画してもらい、それぞれに特色のある楽しいものとなりました。

原田牧場は地元保育園の新人保育士 2 名。北村牧場は知立東高校 2 年生の 2 人。久保田牧場は動物関係の専門学校卒業の同級生 3 人がカウガールとなって色々な体験に挑戦しました。牛舎作業、乳製品の製造、イベントのスタッフや乳製品販売の体験などがあり、そこに TV や冊子・新聞等の取材を入れて広報活動を行うとともに、カウガール達がそれぞれ Facebook 等で発信して愛知県の酪農を PR しました。

●活動の成果、今後の課題

予想以上のメディアが入り、愛知県の酪農を PR できたかと思えます。また参加者からも学校や職場で発信して頂きました。（保育士さんの勤務する保育園でイベントも行いました。）

反面、農家としてはカウガールの 2 名程度なら職場体験などの受け入れで慣れていますが、メディアの取材で牛がざわついたり、インタビューでペースが乱れました。対応の仕方の工夫が必要です。また、カウガールの募集を HP・地元ケーブル TV・新聞等で行いましたが、なかなか問い合わせがこなかったため、今後は検討が必要です。



〈取組項目：食育に関する情報発信の充実〉

〈取組場面：地域〉

(3) いいともあいち運動の推進

県内の消費者と生産者が相互理解や交流を深めたり、地産地消をすすめることで、県民のみんなで県の農林水産業を支えていこうという、いいともあいち運動の推進に取り組みました。

いいともあいち運動シンボルマークの貼付促進

愛知県

●実施時期：通年 ●対象者：県民

●内容

愛知県版地産地消の取組である「いいともあいち運動」を広く県民の方々にアピールしていくため、いいともあいちネットワーク会員に対して、県産農林水産物を使った商品パッケージや梱包用の段ボール、包装紙などへ、運動のシンボルマークを貼付する取組を推進しました。

また、県のWEBページ「いいともあいち情報広場」にシンボルマーク商品情報を掲載し、シンボルマークを表示した商品について、広く県民にPRしました。

●活動の成果、今後の課題

平成24年度までに使用された339商品に加え、25年度は、県の育成品種である小麦「きぬあかり」を使用した生麺や県産大豆を使用した豆腐スイーツなど、新たに69商品にシンボルマークが使用され、合計408商品となりました。

今後も、シンボルマークの貼付を通して、いいともあいち運動の認知度向上に努めていきます。



〈取組項目：運動の認知度の向上〉

〈取組場面：地域〉

いいともあいち魅力発信事業等による消費者への運動のPR

愛知県

●実施時期：平成25年8月～ ●対象者：消費者

●内容

多くの県民に全国有数の愛知の農林水産業や県産農林水産物の魅力を伝えるとともに、いいともあいち運動を認識・理解してもらうため、いいともあいち魅力発信事業を実施し、イメージソング「恋するレシピ」の作成やフェイスブックを開設し、情報発信を行いました。

また、いいともあいち運動を応援する消費者を対象に登録する「いいともあいちサポーター」制度を設置しました。

●活動の成果、今後の課題

イメージソングはHPで無料配信し、幅広く活用いただけます。フェイスブックは、平成26年1月末までに58「いいね!」を獲得し、合計5,384回表示されました。サポーターは平成26年3月末までに71会員の登録がありました。それぞれの機能の活用・継続と認知度への誘導が今後の課題です。



〈取組項目：運動の認知度の向上〉

〈取組場面：地域〉

地産地消・農商工連携ビジネスフェアの開催

愛知県

●実施時期：平成 26 年 2 月 ●対象者：地産地消に取り組む事業者

●内容

農林漁業者や食品製造事業者などが、県産農林水産物やその加工品を展示し、流通関係者等との商談や参加者相互の情報交換を行ない、新商品の開発や新たな販路の開拓に取り組む「地産地消・農商工連携ビジネスフェア」を、平成 26 年 2 月 3 日（月）に名古屋市中区のアイリス愛知で開催しました。

フェアには、82 の企業・団体が出展し、会場は 717 名の参加者でにぎわいました。また、10 企業が自社の取組や商品の紹介を行うプレゼンテーションを行いました。

●活動の成果、今後の課題

フェアの開催に当たっては、事前に出展者と参加者に商談先の意向を聞き、その情報を提供しており、各ブースにおいて、熱心に情報交換や商談が行われました。その結果、平成 26 年 2 月末時点での商談件数は 271 件（H24：147 件）で、前年度に比べ大幅に増加しました。



〈取組項目：協働活動の充実〉

〈取組場面：地域〉

いいともあいち推進店の登録推進

愛知県

●実施時期：平成 26 年 2 月 ●対象者：地産地消に取り組む事業者

●内容

愛知県では、県産農林水産物を積極的に販売する店舗及び食材として利用する飲食店を「いいともあいち推進店」として登録しています。

推進店では、県民が愛知の農林水産物を身近に感じることができるよう、いいともあいち運動ののぼりやステッカーを掲示し、県産農林水産物の販売・利用促進に取り組んでいます。

また、県の WEB ページ「いいともあいち情報広場」に推進店の情報を掲載し、広く県民に PR しました。

●活動の成果、今後の課題

平成 25 年度は、アオキスーパー、株式会社名豆食品など、新たに 26 店舗が登録され、合計 906 店舗となりました。

今後も、いいともあいち推進店の登録を通じて、県産農林水産物の利用拡大を推進していきます。



〈取組項目：県産農林水産物の利用拡大〉

〈取組場面：地域〉

